

## 第5章 音楽

### 第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

#### 1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽を愛好する心情を育てるとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばし，豊かな情操を養う。

#### 2 評価の観点及びその趣旨

| 音楽への関心・意欲・態度               | 音楽的な感受や表現の工夫                              | 表現の技能                     | 鑑賞の能力                      |
|----------------------------|---|---------------------------|----------------------------|
| 音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。 | 音や音楽のよさや美しさを感じ取り，それらを音楽活動の中で創意工夫し，生かしている。 | 音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。 | 音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。 |

#### 3 内容のまとめりごとの評価規準の設定

音楽科においては，学習指導要領の内容の「A表現」の活動分野である「歌唱」，「器楽」，「創作」と「B鑑賞」を内容のまとめり（「A表現・歌唱」，「A表現・器楽」，「A表現・創作」，「B鑑賞」）として，これらごとに評価規準を作成した。

### 第2 内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### 第1学年

##### 1 学年目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を養い，音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，基礎的な表現の技能を身に付け，創造的に表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽に興味・関心をもち，幅広く鑑賞する能力を育てる。

#### 2 第1学年の評価の観点の趣旨

| 音楽への関心・意欲・態度                             | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能   | 鑑賞の能力  |
|--|---|---|--|
| 音や音楽への興味・関心を養い，音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする。 | 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などや速度，強弱の働きを知覚し，音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を身に付け，それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。 | 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，曲に対する自分の解釈やイメージを音を通して適切に表現していくため，発声や楽器の扱い，読譜力などの基礎的な表現の技能を身に付け，創造的に表現する技能を育む。 | 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果，我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などを背景となる文化・歴史などがかかわらせて感じ取って聴く。 |

### 3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### (1) 「A表現・歌唱」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 表現の活動を通して，次の事項を指導する。

- ア 歌詞の内容や曲想を感じ取って，歌唱表現を工夫すること。
- イ 曲種に応じた発声により，言葉の表現に気を付けて歌うこと。
- エ 声部の役割を感じ取り，全体の響きに気を付けて合唱や合奏をすること。
- キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを感じ取って表現を

工夫すること。

ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること。

【「A 表現・歌唱」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の表現，声部の役割と全体の響きに関心をもち，歌唱や合唱の表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の構成要素・表現要素を知覚し，それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</li> <li>歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きを感じ取っている。</li> <li>歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きを感じ取って歌唱や合唱の表現を工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に気を付けて歌唱表現をする技能（読譜力を含む）を身に付けている。</li> <li>声部の役割と全体の響きに気を付けて合唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

【「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能  |
|---|--|--|
| <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に関心をもち，自己のイメージや感情を膨らませて歌唱表現をすることに意欲的である。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもっている。</li> <li>曲のもっているよさや特徴に関心をもち，自己のイメージを広げて歌唱表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種による時代・地域の特徴や様式の違い，言語や発声の多様性に関心をもっている。</li> <li>曲種に応じた発声で歌唱表現をすることに意欲的である。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの表現の仕方に関心をもっている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割に関心をもっている。</li> <li>他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き，曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）に関心をもち，合唱表現をすること</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成を感じ取り，自己のイメージや感情を膨らませて歌唱表現を工夫している。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を感じ取っている。</li> <li>曲のもっているよさや特徴を感じ取り，自己のイメージを広げて歌唱表現を工夫している。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種による時代・地域の特徴や様式の違い，言語や発声の多様性を感じ取っている。</li> <li>曲種に応じた発声により歌唱表現を工夫をしている。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの表現の仕方を感じ取って歌唱表現を工夫している。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割を感じ取っている。</li> <li>他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き，曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）を感じ取り，合唱表現を工夫してい</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に気を付け，自己のイメージや感情を膨らませて歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に気を付けて歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>曲のもっているよさや特徴に気を付け，自己のイメージを広げて歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声で歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの表現の仕方に関心をもち，合唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割に気を付けて合唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き，曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）に気を付けて合唱表現をする技能を</li> </ul> |

に意欲的である。

る。  
「キ」  
・音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを知覚し，それらを感じ取って表現を工夫している。  
(上記の内容は以下のものを含む。)  
【音色】  
声や楽器に固有の音色，音色の組み合わせや変化による豊かな響き，曲種に応じた声の表現や楽器の奏法の違いによる様々な音色。  
【リズム】  
拍節的なリズムにおける拍子のまとまり感，リズムパターンの反復や変化などの表現効果，非拍節的なリズムにおける拍が等間隔でないことからくる自由な動き。  
【旋律】  
音階（長音階，短音階，調性のないもの，我が国及び世界の諸民族の音楽に用いられている様々な音階など）旋律線のもつ方向性，音のつながり方，フレーズの作り方など。  
【和声を含む音と音とのかかわり合い】  
機能和声，我が国及び世界の諸民族の音楽に用いられる様々な音と音とのかかわり合い。  
【形式】  
構成原理（反復，変化，対照など），楽曲構成法（パターンの連鎖と積み重ね，二部形式，三部形式及びそれらの組み合わせなど）。  
「ク」  
・速度や強弱の働きを知覚し，それらの効果を感じ取って表現を工夫している。  
(上記の内容は以下のものを含む。)  
【速度】  
曲にふさわしい速度の設定，だんだん遅く，だんだん速くなどの速度の変化。  
【強弱】  
曲にふさわしい強弱の設定，だんだん強く，だんだん弱くなどの強弱の変化。

身に付けている。。

## (2) 「A 表現・器楽」

### 【学習指導要領の内容】

(1) 表現の活動を通して、次の事項を指導する。

- ウ 楽器の基礎的な奏法を身に付け、美しい音色を工夫して表現すること。
- エ 声部の役割を感じ取り、全体の響きに気を付けて合唱や合奏をすること。
- キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること。
- ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること。

### 【「A 表現・器楽」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の基礎的な奏法や楽器の美しい音色、声部の役割と全体の響きに関心をもち、器楽や合奏の表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</li> <li>・楽器の基礎的な奏法や楽器の美しい音色、声部の役割と全体の響きを感じ取っている。</li> <li>・楽器の基礎的な奏法や楽器の美しい音色、声部の役割と全体の響きを感じ取って器楽や合奏の表現を工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の基礎的な奏法や楽器の美しい音色に気を付けて器楽表現をする技能（読譜力を含む）を身に付けている。</li> <li>・声部の役割と全体の響きに気を付けて合奏表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

### 【「A 表現・器楽」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能  |
|--|---|--|
| <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の基本的な操作方法や初歩的な演奏方法に関心をもち、器楽表現をすることに意欲的である。</li> <li>・楽器の音の特性に関心をもち、美しく豊かな表情の音で器楽表現をすることに意欲的である。</li> <li>・様々な種類の楽器とその用い方に関心をもっている。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法に関心をもち表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割に関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き、曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）に関心をもち、合奏表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の基本的な操作方法に気付き、初歩的な演奏方法を感じ取って器楽表現を工夫している。</li> <li>・楽器の音の特性を知覚し、美しく豊かな表情の音を感じ取って器楽表現を工夫している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の楽器とその用い方による音楽表現のおもしろさや幅広さを感じ取っている。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法を感じ取って表現を工夫している。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割を感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き、曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）を感じ取って、合奏表現を工夫している。</li> </ul> <p>「キ」</p> <p>「ク」</p> <p>「キ」、「ク」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例と同様。</p> | <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の基本的な操作方法や初歩的な演奏方法に気を付けて器楽表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・楽器の音の特性を生かし、美しく豊かな表情の音に気を付けて器楽表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・様々な種類の楽器を用いて器楽表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法に気を付けて表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割に気を付けて合奏表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・他の声部とのかかわりや全体の響き（和声的な響き、曲種による様々な響きや音と音とのかかわり合いなど）に気を付けて合奏表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

### (3) 「A 表現・創作」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 表現の活動を通して、次の事項を指導する。

- オ 短い歌詞に節付けしたり、楽器のための簡単な旋律を作ったりして声や楽器で表現すること。
- カ 表現したいイメージや曲想をもち、様々な音素材を用いて自由な発想による即興的な表現や創作をすること。
- キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること。
- ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること。

#### 【「A 表現・創作」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想、様々な音素材に関心をもち、歌詞や楽器に合った旋律を作ったり自由な発想で即興的な表現や創作をしたりすることに意欲的である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</li> <li>・表現したいイメージや曲想をもち、歌詞や楽器に合った旋律の創作、また様々な音素材を用いて自由な発想による即興的な表現や創作の工夫をしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞や楽器に合った旋律の創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・表現したいイメージや曲想を、様々な音素材を用いて自由な発想で創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

#### 【「A 表現・創作」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能  |
|---|--|--|
| <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を作ったり、歌詞に自分自身の解釈をしたりして、内的な世界を表現することに意欲的である。</li> <li>・歌詞の言葉のもつ特性（自然なリズム、抑揚やアクセントによる音の高低など）に関心をもっている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即興的に短い旋律の創作表現をすることに意欲的である。</li> <li>・リズム模倣や旋律模倣、限定されたリズムパターンや音階による創作表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をすることに意欲的である。</li> <li>・音階や旋律の動きやフレーズなどが生み出す表現効果に関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容に豊かなイメージや共感をもったり、自分たちの生活感情を感じ取ったりしている。</li> <li>・歌詞の言葉のもつ特性（自然なリズム、抑揚やアクセントによる音の高低など）を感じ取っている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即興的に短い旋律の創作表現を工夫をしている。</li> <li>・リズム模倣や旋律模倣、限定されたリズムパターンや音階による創作において、リズムや旋律の動きを感じ取っている。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて感じ取り創作表現を工夫している。</li> <li>・音階の特徴や旋律の動きやフレーズなどが生み出す表現効果を感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現を工夫している。</li> </ul> | <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の言葉のもつ特性（自然なリズム、抑揚やアクセントによる音の高低など）に気を付けて創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即興的に短い旋律の創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・リズム模倣や旋律模倣、限定されたリズムパターンや音階による創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音階の特徴や旋律の動きやフレーズなどが生み出す表現効果に気を付けて創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・作った旋律を五線譜などに記録することに意欲的である。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴の違いに関心を持ち、創作の発想を認め合う態度をもっている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音素材を探すことに意欲的である。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の特性に関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想をもつことに意欲的である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現することに意欲的である。</li> <li>・自由な発想で創作表現することに意欲的である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法(反復,変化,対照,起承転結など)に関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を図形楽譜などで記録することに意欲的である。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴の違いに関心を持ち、創作の発想を認め合う態度をもっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作った旋律を五線譜などに記録する方法を工夫している。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴や創作の発想の違いを感じ取っている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音素材の音の違いを感じ取っている。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の特性を感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて感じ取り創作表現を工夫している。</li> <li>・自由な発想で創作表現を工夫している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法(反復,変化,対照,起承転結など)の表現効果を感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を図形楽譜などで記録する方法を工夫している。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴や創作の発想の違いを感じ取っている。</li> </ul> <p>「キ」<br/>「ク」</p> <p>「キ」、「ク」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例と同様。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作った旋律を五線譜などに記録する技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音素材を探すために様々な音の出し方を試している。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の特性に気を付けて創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想に合った音素材を選択し創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音を試行錯誤的に組み合わせ、ある程度の長さの作品の創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法(反復,変化,対照,起承転結など)の表現効果に気を付けて創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を図形楽譜などで記録する技能を身に付けている。</li> </ul> |
|--|--|---|

#### (4) 「B 鑑賞」

##### 【学習指導要領の内容】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くこと。

イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聴くこと。

ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を感じ取って聴くこと。

エ 音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと。

##### 【「B 鑑賞」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 鑑賞の能力   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す楽</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す楽</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す楽</li> </ul> |

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>曲の雰囲気や曲想に関心を持ち、意欲的に聴いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴，それらによる音楽の多様性，音楽の背景となる文化・歴史などに関心を持ち，意欲的に聴いている。</li> </ul> | <p>曲の雰囲気や曲想を感じ取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴を感じ取っている。</li> <li>音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて感じ取っている。</li> </ul> | <p>曲の雰囲気や曲想を意識し，楽曲を聴き取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を意識し，楽曲を聴き取っている。</li> <li>音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴き取っている。</li> </ul> |
|--|---|---|

【「B 鑑賞」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫   | 鑑賞の能力   |
|---|--|---|
| <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働き及び効果を，楽曲の雰囲気や曲想とかかわらせて聴くことに関心を持ち，意欲的に聴いている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）によって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化に関心を持ち，意欲的に聴いている。</li> <li>表現要素が生み出す雰囲気や曲想によって，緊張や弛緩，動的や静的，雄大さや繊細さ，安堵感や焦燥感など様々な個人のイメージや感情が引き出されることに関心をもっている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（主としてアジア地域の諸民族の音楽における旋律やリズムの特徴，楽器の音や構造と奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）に関心を持ち，意欲的に聴いている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることに関心をもっている。</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働き及び効果を知覚し，楽曲の雰囲気や曲想を感じ取っている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）の働きと効果を知覚し，楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取っている。</li> <li>表現要素が生み出す雰囲気や曲想によって，緊張や弛緩，動的や静的，雄大さや繊細さ，安堵感や焦燥感など様々な個人のイメージや感情が引き出されることを感じ取っている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（主としてアジア地域の諸民族の音楽における旋律やリズムの特徴，楽器の音や構造と奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）を知覚し，感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることを感じ取っている。</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働き及び効果と，楽曲の雰囲気や曲想とのかかわりを意識し，楽曲を聴き取っている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）によって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を意識して聴き取ったり聴き分けたりしている。</li> <li>表現要素が生み出す雰囲気や曲想によって，緊張や弛緩，動的や静的，雄大さや繊細さ，安堵感や焦燥感など様々な個人のイメージや感情が引き出されることを意識し，楽曲を聴き取っている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（主としてアジア地域の諸民族の音楽における旋律やリズムの特徴，楽器の音や構造と奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）を意識し，楽曲を聴き取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることを意識し，楽曲全体を聴き取っている。</li> </ul> |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 「工」<br>・音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史と結び付けることに関心をもっている。 | 「工」<br>・音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史と結び付けて感じ取っている。 | 「工」<br>・音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史と結び付けて意識し，楽曲を聴き取っている。 |
|--|--|---|

## 第2学年及び第3学年

### 1 学年目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を高める。
- (3) 音楽に対する総合的な理解を深め，幅広く鑑賞する能力を高める。

### 2 第2学年及び第3学年の評価の観点の趣旨

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能   | 鑑賞の能力   |
|---|---|---|---|
| 音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しもうとする。 | 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などや速度，強弱の働きを知覚し，音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を高め，楽曲への理解を深めながらそれらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。 | 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，曲に対する自分の解釈やイメージを音を通して適切に表現していくため，発声や楽器の扱い，読譜力などの表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を高める。 | 楽曲全体の曲想と諸要素の働きによる効果，我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などを，背景となる文化・歴史や芸術などにかかわらせて総合的に理解して聴く。 |

### 3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### (1) 「A 表現・歌唱」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 表現の活動を通して，次の事項を指導する。
  - ア 歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。
  - イ 曲種に応じた発声により，美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。
  - エ 声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。
  - キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫すること。
  - ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。

##### 【「A 表現・歌唱」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能   |
|--|--|---|
| ・歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や美しい言葉の表現，声部の役割と全体の響きに関心をもち，曲にふさわしい歌唱や合唱の表現をすることに意欲的である。 | ・音楽の構成要素・表現要素を知覚し，それらが生み出す曲想の美しさを感じ取っている。<br>・歌詞の内容や曲想の味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取っている。<br>・歌詞の内容や曲想の味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取って歌唱や合唱の表現を工夫している。 | ・歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かして歌唱表現をする技能（読譜力を含む）を身に付けている。<br>・声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱表現をする技能を身に付けている。 |



【「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能   |
|--|--|---|
| <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成に関心を持ち，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をすることに意欲的である。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心を持ち，自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲の仕組みの中に見付けることに意欲的である。</li> <li>曲のもっているよさや特質に関心を持ち，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種による時代・地域の特徴や様式の違い，音楽を支える風土や文化・歴史，言語や発声の多様性に関心をもっている。</li> <li>曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして，曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの美しい表現の仕方に関心をもっている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みに関心をもっている。</li> <li>他の声部の役割や表現意図に関心をもっている。</li> <li>演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和に関心を持ち，合唱表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成を理解し，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現を工夫している。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を感じ取り，自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲の仕組みの中に見付けている。</li> <li>曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種による時代・地域の特徴や様式の違い，音楽を支える風土や文化・歴史，言語や発声の多様性を感じ取って理解している。</li> <li>曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして，曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの美しい表現の仕方を感じ取って歌唱表現を工夫している。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みを感じ取っている。</li> <li>他の声部の役割や表現意図を感じ取って理解している。</li> <li>演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和を感じ取って合唱表現を工夫している。</li> </ul> <p>「キ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを総合的に知覚し，それらを生かした表現を工夫している。</li> </ul> <p>(上記の内容は以下のものを含む。)</p> <p>【音色】</p> <p>声や楽器に固有の音色，音色の組み合わせや変化による豊</p> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成を理解し，自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>音楽の諸要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想の自己のイメージや感情を生かして，歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして，曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感による特性，濁音・鼻濁音などの美しい表現の仕方を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みを生かして合唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>他の声部の役割や表現意図を理解して合唱表現をする技能を身に付けている。</li> <li>演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和を感じ取って合唱表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>かな響き，曲種に応じた声の表現や楽器の奏法の違いによる様々な音色。</p> <p>【リズム】<br/>拍節的なリズムにおける拍子のまとまり感，リズムパターンの反復や変化などの表現効果，非拍節的なリズムにおける拍が等間隔でないことからくる自由な動き。</p> <p>【旋律】<br/>音階（長音階，短音階，調性のないもの，我が国及び世界の諸民族の音楽に用いられている様々な音階など），旋律線のもつ方向性，音のつながり方，フレーズの作り方など。</p> <p>【和声を含む音と音とのかかわり合い】<br/>機能と声，我が国及び世界の諸民族の音楽に用いられる様々な音と音とのかかわり合い。</p> <p>【形式】<br/>構成原理（反復，変化，対照など），楽曲構成法（パターンの連鎖と積み重ね，二部形式，三部形式及びそれらの組み合わせなど）。</p> <p>「ク」<br/>・速度や強弱の働きを総合的に知覚し，それらの効果を生かした表現を工夫している。<br/>（上記の内容は以下のものを含む。）</p> <p>【速度】<br/>曲にふさわしい速度の設定，より多様で複雑な速度の変化。</p> <p>【強弱】<br/>曲にふさわしい強弱の設定，より多様で複雑な強弱の変化。</p> |  |
|--|--|--|

## (2) 「A 表現・器楽」

### 【学習指導要領の内容】

(1) 表現の活動を通して，次の事項を指導する。

ウ 楽器の特徴を生かし，曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現すること。

エ 声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。

キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫すること。

ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。

### 【「A 表現・器楽」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能   |
|---|---|---|
| ・ 楽器の特徴や曲にふさわしい音色や奏法，声部の役割と全体の響きの調和に関心を持ち，器楽や合奏の表現をすること | ・ 音楽の構成要素・表現要素を知覚し，それらが生み出す曲想の美しさを感じ取っている。<br>・ 楽器の特徴や曲にふさわしい | ・ 楽器の特徴や曲にふさわしい音色や奏法を生かして器楽表現をする技能（読譜力を含む）を身に付けている。 |

|                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| <p>に意欲的である。</p> | <p>音色や奏法，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴を生かし，曲にふさわしい音色や奏法，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取って器楽や合奏の表現を工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合奏表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |
|-----------------|---|--|

【「A 表現・器楽」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能  |
|---|---|--|
| <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴（楽器固有の音色や響き，奏法の特徴や効果，楽器のいろいろな組み合わせなど）を生かすことに関心をもち，器楽表現をすることに意欲的である。</li> <li>・曲にふさわしい音色や奏法（フレーズのまとまりやアーティキュレーションなど）に関心をもち，器楽表現をすることに意欲的である。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法に関心をもち，表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みに関心をもちている。</li> <li>・他の声部の役割や表現意図に関心をもちている。</li> <li>・演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和に関心をもち，合奏表現をすることに意欲的である。</li> </ul> | <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴（楽器固有の音色や響き，奏法の特徴や効果，楽器のいろいろな組み合わせなど）を感じ取り，それらを生かして器楽表現を工夫している。</li> <li>・曲にふさわしい音色や奏法（フレーズのまとまりやアーティキュレーションなど）を感じ取り，それらを生かして器楽表現を工夫している。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法を感じ取り，それらを生かして表現を工夫している。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みを感じ取っている。</li> <li>・他の声部の役割や表現意図を感じ取って理解している。</li> <li>・演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和を感じ取って合奏表現を工夫している。</li> </ul> <p>「キ」<br/>「ク」</p> <p>「キ」、「ク」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例と同様。</p> | <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴（楽器固有の音色や響き，奏法の特徴や効果，楽器のいろいろな組み合わせなど）を生かして器楽表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・曲にふさわしい音色や奏法（フレーズのまとまりやアーティキュレーションなど）を生かして器楽表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・和楽器の音の特性や奏法を生かして表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各声部の特徴と役割，声部の構造，曲の仕組みを生かして合奏表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・他の声部の役割や表現意図を理解して合奏表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・演奏を客観的にとらえ，全体の響きの調和を感じ取って合奏表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

(3) 「A 表現・創作」

【学習指導要領の内容】

(1) 表現の活動を通して，次の事項を指導する。

オ 歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律を作り，声や楽器で表現すること。

カ 表現したいイメージや曲想をもち，様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作をすること。

キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫すること。

ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。

【「A 表現・創作」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫   | 表現の技能   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想，様々な音素材に関心をもち，歌詞や楽器にふさわしい旋律を作ったり自由な発想で即興的な表現や創作をしたりすることに意欲的である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素を知覚し，それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</li> <li>・表現したいイメージや曲想をもち，歌詞や楽器にふさわしい旋律の創作，また様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作の工夫をしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞や楽器にふさわしい旋律の創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・表現したいイメージや曲想を，様々な音素材を生かして自由な発想で創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> |

【「A 表現・創作」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能  |
|--|---|--|
| <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を作ったり，歌詞に自分自身の解釈をしたりして，内的な世界を表現することに意欲的である。</li> <li>・歌詞の形式的なまとまりや言葉のもつ特性(自然なリズム，抑揚やアクセントによる音の高低など)に関心をもっている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴(音域，音色，奏法など)を生かして旋律の創作表現をすることに意欲的である。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をすることに意欲的である。</li> <li>・音階や作品の形式・構成に関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律に和声を付けたり，複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現をすることに意欲的である。</li> <li>・作品を五線譜などに記録することに意欲的である。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴の違いに関心をもち，創作の発想を認め合う態度をもっている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音素材を探すことに意欲的である。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の</li> </ul> | <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や語感から豊かなイメージや共感をもったり，自分たちの生活感情を感じ取ったりしている。</li> <li>・歌詞の形式的なまとまりや言葉のもつ特性(自然なリズム，抑揚やアクセントによる音の高低など)を感じ取っている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴(音域，音色，奏法など)を生かして旋律の創作表現を工夫している。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて感じ取り創作表現を工夫している。</li> <li>・音階の特徴や作品の形式・構成によるまとまりを感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律に和声を付けたり，複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現を工夫している。</li> <li>・作品を五線譜などに記録する方法を工夫している。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴や創作の発想の違いを感じ取っている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音素材の音の違いを感じ取っている。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の</li> </ul> | <p>「オ」<br/>歌詞に節付けする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の形式的なまとまりや言葉のもつ特性(自然なリズム，抑揚やアクセントによる音の高低など)を生かして創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>楽器のための旋律を作る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴(音域，音色，奏法など)を生かして旋律の創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>創作の共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音階の特徴や作品の形式・構成によるまとまりを生かして創作表現をする技能を身に付けている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律に和声を付けたり，複数の旋律をつないだり重ねたりして創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・作品を五線譜などに記録する技能を身に付けている。</li> </ul> <p>「カ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音素材を探すために様々な音の出し方を試している。</li> <li>・音楽の素材としての声や音(楽器や身の回りの音を含む)の</li> </ul> |

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>特性に関心をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想をもつことに意欲的である。</li> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現することに意欲的である。</li> <li>・音素材の特性を生かし、自由な発想で音楽を構成することに意欲的である。</li> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法（反復，変化，対照，起承転結など）に関心をもっている。</li> <li>・音楽作品としての全体的な統一感や変化のおもしろさに関心をもっている。</li> <li>・作品を図形楽譜などで記録することに意欲的である。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴の違いに関心をもち，創作の発想を認め合う態度をもっている。</li> </ul> | <p>特性を感じ取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや曲想をもち，変化，発展させている。</li> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて感じ取り創作表現を工夫している。</li> <li>・音素材の特性を生かし，自由な発想で音楽を構成する工夫をしている。</li> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法（反復，変化，対照，起承転結など）の表現効果を感じ取っている。</li> <li>・音楽作品としての全体的な統一感や変化のおもしろさを感じ取っている。</li> <li>・作品を図形楽譜などで記録する方法を工夫している。</li> <li>・自分の作品と他者の作品との特徴や創作の発想の違いを感じ取っている。</li> </ul> <p>「キ」<br/>「ク」<br/>「キ」、「ク」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例と同様。</p> | <p>特性を生かして創作表現をする技能を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージや発想をもち，創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音楽の諸要素の働きをイメージとかかわらせて創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音素材の特性を生かし，自由な発想で音楽を構成する技能を身に付けている。</li> <li>・音楽経験や生活経験から得た構成方法（反復，変化，対照，起承転結など）の表現効果を生かして創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・音楽作品としての全体的な統一感や変化のおもしろさを生かして創作表現をする技能を身に付けている。</li> <li>・作品を図形楽譜などで記録する技能を身に付けている。</li> </ul> |
|---|---|---|

#### (4) 「B 鑑賞」

##### 【学習指導要領の内容】

(1) 鑑賞の活動を通して，次の事項を指導する。

ア 声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される曲想とのかかわりを理解して，楽曲全体を味わって聴くこと。

イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。

ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解して聴くこと。

エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから 総合的に理解して聴くこと。

##### 【「B 鑑賞」の評価規準】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 鑑賞の能力  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す曲想の変化に関心をもち，意欲的に聴いている。</li> <li>・我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴，それらによる音楽の多様性，音楽の背景となる文化・歴史と他の芸術とのかかわりなどに関心をもち，意欲的に聴いている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素を知覚し，それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</li> <li>・我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴を感じ取っている。</li> <li>・音楽をその背景となる文化・歴史及び他の芸術とかかわらせて総合的に感じ取っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構成要素・表現要素の働き，及びそれらが生み出す曲想の変化を聴き取り，楽曲全体を味わって聴き取っている。</li> <li>・我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> <li>・音楽をその背景となる文化・歴史及び他の芸術とかかわら</li> </ul> |

せ，楽曲全体を総合的に理解し，聴き取っている。

【「B 鑑賞」の評価規準の具体例】

| 音楽への関心・意欲・態度  | 音楽的な感受や表現の工夫  | 鑑賞の能力   |
|---|---|---|
| <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働きと曲想とのかかわりについてより細部にわたり関心をもち，意欲的に聴いている。</li> <li>楽曲構成の豊かさや表現の多様さと楽曲全体の味わいに関心をもっている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）によって生み出される曲想の変化に関心をもち，意欲的に聴いている。</li> <li>表現要素と曲想の変化との関連を，より細部にわたり聴くことに意欲的である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>演奏者の違いや意図によって曲想が異なり，音楽の表情が大きく変わることに関心をもっている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（世界の諸民族の音楽における歌や語りの発声，踊りと音楽の関係，楽器の音色や奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）に関心をもち，意欲的に聴いている。</li> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることに関心をもっている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史と結び付けることに関心をもっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が文学，演劇，舞踊，美</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働きをより細部にわたり知覚し，曲想を感じ取っている。</li> <li>楽曲構成の豊かさや表現の多様さを感じ取っている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）の働きによって生み出される曲想の変化を感じ取っている。</li> <li>表現要素と曲想の変化との関連を，より細部にわたり感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>演奏者の違いや意図によって曲想が異なり，音楽の表情が大きく変わることを感じ取っている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（世界の諸民族の音楽における歌や語りの発声，踊りと音楽の関係，楽器の音色や奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）を感じ取っている。</li> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることを感じ取っている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史と結び付けて感じ取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が文学，演劇，舞踊，美</li> </ul> | <p>「ア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様々な構成要素（声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ，リズムや拍子の特徴，リズムパターンの反復や変化，非拍節的なリズムの自由な動きや流れ，旋律の特徴や様々な音階，我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い，形式など）の働きと曲想とのかかわりをより細部にわたり理解し，楽曲全体を味わって聴き取っている。</li> <li>楽曲構成の豊かさや表現の多様さから楽曲全体を味わって聴き取っている。</li> </ul> <p>「イ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現要素（速い，遅いや徐々に変化する速度，強弱やその対比）によって生み出される曲想の変化を理解して楽曲全体を聴き取っている。</li> <li>表現要素と曲想の変化との関連をより細部にわたり理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>演奏者の違いや意図によって曲想が異なり，音楽の表情が大きく変わることを理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> </ul> <p>「ウ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽をはじめ，世界の諸民族の様々な音楽の特徴（世界の諸民族の音楽における歌や語りの発声，踊りと音楽の関係，楽器の音色や奏法，合奏の仕方，声と楽器の関係など）を理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> <li>人類の音楽文化が多様であり，それぞれ固有の美しさがあることを理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> </ul> <p>「エ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴や特質を，その音楽の生まれた時代や地域の文化・歴史とのかかわりを理解し，楽曲全体を聴き取っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が文学，演劇，舞踊，美</li> </ul> |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>術などの他の芸術とどのように結び付いているのかに関心をもっている。</p> | <p>術などの他の芸術とどのように結び付いているのかを感じ取っている。</p> | <p>術などの他の芸術とどのように結び付いているのかを理解し、楽曲全体を聴き取っている。</p> |
|--|---|--|

### 第3 題材の評価に関する事例

ここでは、「表現」領域において歌唱指導の工夫を行った事例「言葉と旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫」を紹介する。

題材名 「言葉と旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫」（2時間） 第2学年 6月

#### 1 題材の目標

- (1) 我が国で長く親しまれている歌曲の歌詞の内容や曲想，言葉の表現や旋律の特徴に関心をもたせ，曲にふさわしい歌唱表現に意欲的に取り組もうとする態度を養う。
- (2) 歌詞の内容や曲想，美しい言葉の表現や旋律の特徴を感じ取らせ，曲にふさわしい歌唱表現を工夫させる。
- (3) 歌詞の内容や曲想，美しい言葉の表現や旋律の特徴を生かして，曲にふさわしい歌唱表現をする技能を伸ばす。

2 教材 「夏の思い出」 江間章子作詞 中田喜直作曲

#### 3 題材の評価規準 「A表現・歌唱」

|                | ア 音楽への関心・意欲・態度   | イ 音楽的な感受や表現の工夫  | ウ 表現の技能  |
|----------------|--|---|--|
| 内容のまとめりごとの評価規準 | a 歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や美しい言葉の表現，声部の役割や全体の響きに関心もち，曲にふさわしい歌唱や合唱の表現をすることに意欲的である。   | a 音楽の構成要素・表現要素を理解し，それらが生み出す曲想の美しさを感じ取っている。<br>b 歌詞の内容や曲想の味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取っている。<br>c 歌詞の内容や曲想の味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性，声部の役割と全体の響きの調和を感じ取って歌唱や合唱の表現を工夫している。 | a 歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かして，曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。<br>b 声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱表現をする技能を身に付けている。                |
| 題材の評価規準        | a 「夏の思い出」の歌詞の内容や曲想，言葉の表現や旋律の特徴に関心もち，曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。   | a 「夏の思い出」の旋律進行と構成を理解し，それらが生み出す曲想の美しさを感じ取っている。<br>b 「夏の思い出」の歌詞の内容と曲想の味わい，言葉の特性を感じ取っている。<br>c 「夏の思い出」の歌詞の内容と曲想の味わい，美しい言葉の表現を感じ取って歌唱表現を工夫している。                               | a 「夏の思い出」の歌詞の内容と曲想，美しい言葉の表現を生かして，曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。   |
| 学習活動における具体     | 「夏の思い出」の歌詞の意味と背景にある尾瀬の情景や話者の心情に関心をもっている。<br>「夏の思い出」の曲想に関心もち，自己のイメージや感情の根拠を曲の仕組みの中に見付けることに意欲的である。<br>X 「夏の思い出」の言葉の抑 | 「夏の思い出」の歌詞の意味と背景にある尾瀬の情景や話者の心情を理解している。<br>「夏の思い出」の曲想を感じ取り，自己のイメージや感情の根拠を曲の仕組みの中に見付けている。<br>X 「夏の思い出」の言葉の抑   | 「夏の思い出」の曲想の自己のイメージや感情を生かして，歌唱表現をする技能を身に付けている。<br>「夏の思い出」の言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感，及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている。 |



|                       |  |   |  |
|-----------------------|--|---|--|
| の<br>評<br>価<br>規<br>準 | 揚，アクセント，リズム，語感，及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方に関心をもっている。 | 揚，アクセント，リズム，語感，及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方を感じ取って歌唱表現を工夫している。<br><br>「夏の思い出」の旋律線のもつ方向性，音のつながり方，フレーズの作り方，旋律の反復や変化による構成などを理解し，それらを生かした表現を工夫している。 |  |
|-----------------------|--|---|--|

注 年間指導計画及び評価計画（第2学年）の参考例と本題材の位置付け  
本題材は教材「夏の思い出」の内容を考慮し，学校生活が軌道に乗った夏休み前の6月に設定されている。

#### 4 指導と評価の計画（2時間）

| 時間 | ねらい・学習活動  | 題材の評価規準との関連  | 評価方法等   |
|----|---|--|---|
| 1  | <p>「夏の思い出」に関心をもち意欲的に学習しようとする態度をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏の思い出」を聴いたり歌ったりして，曲の概要をとらえる。</li> <li>・曲を聴いたり歌ったりして，自分の感じた最初のイメージ及びその根拠となる曲の要素を学習カードに記入する。</li> </ul> <p>歌詞の内容と曲想や言葉の特性について理解を深め，歌唱表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾瀬の写真や映像を見てイメージを広げる。</li> <li>・歌詞を読み，歌詞の表している内容（背景となる尾瀬の情景や話者の心情を含めて）を要約して学習カードに記入する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みずばしょうのはながさいている」の部分を取り出して美しい言葉の表現とそれにもなう強弱などを工夫して歌う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特性（抑揚，アクセント，リズム，語感，濁音・鼻濁音）に注意して，歌詞全体を朗読する。</li> <li>・歌詞の内容や曲想と曲にふさわしい美しい言葉の表現を感じ取り，自分のイメージや感情を生かして歌う。</li> </ul> | <p>アの<br/>イの</p> <p>アの<br/>イの</p> <p>アの<br/>イの</p> <p>ウの</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード1<br/>曲に対するイメージをもととしているか（ア），自分のもったイメージを曲の諸要素とかがわせることができるか（イ）を記述内容を通して評価する。</li> <li>・学習カード2<br/>言葉の意味や背景を含めて歌詞の内容に関心をもっているか（ア），感じ取っているか（イ）を記述内容を通して評価する。</li> <li>・演奏<br/>言葉の特性（抑揚，アクセント，リズム，語感，濁音・鼻濁音）を感じ取っているか演奏を聴き取って評価する。</li> <li>・演奏<br/>歌詞の内容や美しい言葉の表現を工夫して曲全体を歌っているか演奏を聴き取って評価する。</li> </ul> |
| 2  | <p>曲の旋律進行の特徴と旋律の反復・変化による構成を生かして歌唱表現を工夫す</p>   |  |   |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>る。</li> <li>・「夏の思い出」を歌う。</li> <li>・曲中の順次進行，跳躍進行の部分を取り出して比較し，2種類の旋律の進行を理解する。</li> <li>・最初と最後の「はるかなおぜ」とおいそらを比較し，後の方にはなぜ跳躍進行が使われたのかを想像して発言する。</li> </ul> | イの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察<br/>跳躍進行の効果を感じ取った発言内容があるかどうかで評価する。</li> </ul>                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初と最後の「はるかなおぜ」とおいそら」の部分の表現を工夫して歌う。</li> <li>・反復されている旋律，変化している旋律を確かめ，曲全体の旋律の構成（a a b a f）を理解する。</li> </ul>  | イの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察<br/>旋律の反復・変化，構成（a a b a f）を正しくとらえているか発問に対する生徒の反応を観察して評価する。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の進行や構成と曲想とのかかわりにについて自分の考えをもって，どのように表現を工夫したらよいか話し合う。</li> </ul>   | イの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察<br/>旋律の進行や構成による表現の工夫を言えるか発言内容を通して評価する。</li> </ul>                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の特徴による曲想を生かし，曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</li> </ul>  | ウの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏<br/>旋律の特徴による曲想を生かして歌っているか演奏を聴き取って評価する。</li> </ul>                     |
| <p>まとめと評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の特徴についての総括テスト用紙に解答を記入する。</li> </ul>  | イの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総括テスト<br/>旋律の進行，構成と曲想とのかかわりにについて，解答を通して評価する。</li> </ul>                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や言葉の表現，旋律の特徴について学習の結果，自分が感じたことを学習カードに記入する。</li> </ul>   | イの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード3<br/>最初のイメージの根拠を歌詞や曲の仕組みの中に発見できたか，記述内容を通して評価する。</li> </ul>         |

## 5 観点別評価の進め方

| 学習活動における具体的評価規準  | おおむね満足できる状況であると判断した具体的な例  | 十分満足できる状況であると判断した具体的な例  |
|--|---|---|
| <p>【ア 音楽への関心・意欲・態度】</p> <p>「夏の思い出」の歌詞の意味と背景にある尾瀬の情景や話者の心情に関心をもっている。</p> <p>「夏の思い出」の曲想に関心を持ち，自己のイメージや感情の根拠を曲の仕組みの中に見付けることに意欲的である。</p> <p>X 「夏の思い出」の言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感，及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方に関心をもっている。</p> | <p>学習カード2に自分の考えを記述している。</p> <p>学習カード1に自分のもったイメージとその根拠を記述している。</p> <p>言葉の1つの特性を生かして歌おうとしている。</p> | <p>学習カード2に自分の考えを十分な分量で記述している。</p> <p>学習カード1に自分のもったイメージとその根拠を十分な分量で記述している。</p> <p>言葉の2つ以上の特性を生かして歌おうとしている。</p> |
| <p>【イ 音楽的感受や表現の工夫】</p> <p>「夏の思い出」の歌詞の意味と背景にある尾瀬の情景や話者の心情を理解している。</p>   | <p>学習カード2の歌詞の要約についての記述内容が適切である。（記述例）</p>  | <p>学習カード2の歌詞の要約についての記述内容が豊かである。（記述例）</p>  |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>「夏の思い出」の曲想を感じ取り、自己のイメージや感情の根拠を曲の仕組みの中に見付けている。</p>   | <p>「毎年夏になると美しかった尾瀬の情景を思い出します。」</p> <p>学習カード1に自分のもったイメージを曲の1つの仕組みとかかわらせた記述内容がある。<br/>(記述例)<br/>「やさしいイメージの曲。それは旋律がなめらかにつながっていると感じたから。」</p> <p>学習カード3にあげた曲の仕組みについての記述内容が適切である。<br/>(記述例)<br/>「旋律の進行...旋律の進行が曲のイメージに大きくかかわっていることがわかった。」</p>  | <p>「毎年夏になると美しかった尾瀬の情景が思い出され、なつかしい思いがこみあげてきます。」</p> <p>学習カード1に自分のもったイメージを曲の2つ以上の仕組みとかかわらせた記述内容がある。<br/>(記述例)<br/>「さわやかな夏のイメージで、美しい情景が浮かんでくるようだ。それは歌詞の内容や旋律のなめらかさ、おだやかなリズムから感じた。」</p> <p>学習カード3にあげた曲の仕組みについての記述内容が豊かである。<br/>(記述例)<br/>「旋律の進行...作曲者は順次進行によるおだやかな旋律の中に跳躍進行をととても効果的に使っており、豊かな曲想が生まれている。」</p> |
| <p>X 「夏の思い出」の言葉の抑揚、アクセント、リズム、語感、及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方を感じ取って歌唱表現を工夫している。</p> <p>「夏の思い出」の旋律線のもつ方向性、音のつながり方、フレーズの作り方、旋律の反復、変化による構成などを理解し、それらを生かした表現を工夫している。</p> | <p>鼻濁音をきれいに発音して歌っている。</p> <p>跳躍進行の効果について自分の考えを発言できる。<br/>(発言例)<br/>「跳躍進行によって曲の大きな変化を感じさせている。」</p> <p>旋律の構成についての発問に対し正しい反応を見せている。<br/>(挙手や自由発言の観察)</p> <p>旋律の進行や構成を生かした表現の工夫について自分の考えを発言している。<br/>(発言例)<br/>「3フレーズ目は旋律が変化しているから大きく歌って盛り上げよう。」</p> <p>総括テストにおおむね適切な解答が記入されている。</p> <p>-----<br/>(「(資料)・総括テストの作成例と生徒の記入例」を参照)</p> | <p>子音や鼻濁音をきれいに発音し、アクセントの付け方を工夫して歌っている。</p> <p>跳躍進行の効果についての的確な分析により自分の考えを説明できる。<br/>(発言例)<br/>「始めの部分とは違う跳躍進行によって場面転換を効果的に表現しようとしている。」</p> <p>旋律の進行や構成を生かした表現の工夫についての的確な根拠に基づく自分の考えを発言している。<br/>(発言例)<br/>「3フレーズ目はbになっているし、高い音や跳躍進行も使われているので、変化をつける必要があり強弱を工夫しよう。」</p> <p>総括テストに完全な解答が記入されている。</p>         |
| <p>【ウ 表現の技能】<br/>「夏の思い出」の曲想の自己のイメージや感情を生かして、歌唱表現をする技能を身に付けている。</p>   | <p>自分のイメージや感情を生かして歌っている。</p>   | <p>自分のイメージや感情を生かして歌っている様子が際立って見て取れる。</p>   |

|   |                            |                                     |
|---|----------------------------|-------------------------------------|
| 「夏の思い出」の言葉の抑揚，アクセント，リズム，語感，及び濁音・鼻濁音の美しい表現の仕方を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている。 | 言葉の特性や美しい表現の仕方を身に付けて歌っている。 | 言葉の特性や美しい表現の仕方を身に付けている様子が際立って見て取れる。 |
|---|----------------------------|-------------------------------------|

「Cの評価の生徒への指導の手だて」

本題材における，具体的評価規準を実現していると判断できない場合には，その生徒のどの観点のどの部分が実現を妨げているかを分析，判断し，補充的な時間を設けるようにする。

次の題材の内容に移る時に，前回の実現していない学習内容に対して補充的な学習になるように指導計画の一部変更をする。

6 本題材における観点別評価の総括

(1) 上記までの方法で，学習活動における具体的評価規準ごとに，A・B・Cの3段階で評価を行い，その結果に基づき，題材が終了した段階で観点別に総括する。

(2) 総括的な観点別評価を行う際の考え方は次のとおりである。

- ・ 総括の際，AとBのみでAが半数以上の場合にはAとする。
- ・ 総括の際，AとCのみでAが半数以上の場合にはBとする。
- ・ 総括の際，BとCのみでBが半数以上の場合にはBとする。
- ・ 総括の際，AとBとCのすべてを含んでいて，AとBが合計で半数以上の場合にはBとする。

(3) 観点別評価の総括例は次のとおりである。

|           | 音楽への関心・意欲・態度                                       | 音楽的な感受や表現の工夫  | 表現の技能                               |
|-----------|--|---|-------------------------------------|
| 生徒<br>Mさん | 具体的評価規準 A )<br>具体的評価規準 A ) <b>A</b><br>具体的評価規準 B ) | 具体的評価規準 A )<br>具体的評価規準 A ) <b>A</b><br>具体的評価規準 B )<br>具体的評価規準 B ) | 具体的評価規準 B )<br>具体的評価規準 B ) <b>B</b> |
| 生徒<br>Nさん | 具体的評価規準 A )<br>具体的評価規準 B ) <b>B</b><br>具体的評価規準 B ) | 具体的評価規準 B )<br>具体的評価規準 B ) <b>B</b><br>具体的評価規準 B )<br>具体的評価規準 B ) | 具体的評価規準 A )<br>具体的評価規準 C ) <b>B</b> |
| 生徒<br>Oさん | 具体的評価規準 C )<br>具体的評価規準 B ) <b>B</b><br>具体的評価規準 A ) | 具体的評価規準 B )<br>具体的評価規準 B ) <b>B</b><br>具体的評価規準 C )<br>具体的評価規準 C ) | 具体的評価規準 C )<br>具体的評価規準 C ) <b>C</b> |

(4) この外にも，題材における観点別評価の総括については様々な考え方や方法があり，各学校において工夫することが望まれる。

(資料)

学習カード1の作成例と生徒の記入例

- ・「夏の思い出」を聴いたり歌ったりして、あなたはどのようなイメージをもちましたか？

生徒1 ゆったりとしてさわやかで、夏なのに涼しいイメージだった。  
生徒2 とてもきれいでやさしいイメージの曲でした。  
生徒3 夏の青くてきれいな空、きれいな景色を想像した。

- ・曲のどのような点からそのイメージをもちましたか？

生徒1 メロディーにそんなに高低差がないと思ったから。  
生徒2 曲の詩自体がやさしい感じで、リズムもやさしい感じだったから。  
生徒3 歌詞の内容と歌い方によりそう感じた。

学習カード2の作成例と生徒の記入例

「夏の思い出」の歌詞をよく読んで詩の解釈をしてみましょう。

- ・あなたはこの歌詞を読んで、話者は何を「夏の思い出」としていると考えますか。

生徒1 尾瀬の美しい風景  
生徒2 昔の旅行のこと  
生徒3 水芭蕉の花

- ・歌詞の内容を話者の思いを含めて簡単に要約して書き表してみましょう。

生徒1 毎年夏になると昔行った尾瀬の美しい風景を思い出す。今は忙しくて行けないけれど...。  
生徒2 目を閉じると尾瀬の情景が浮かんできます。もう一度行ってみたいなあ。  
生徒3 尾瀬は水芭蕉の花が咲いている貴重なところなので美しい自然を大切にしよう。

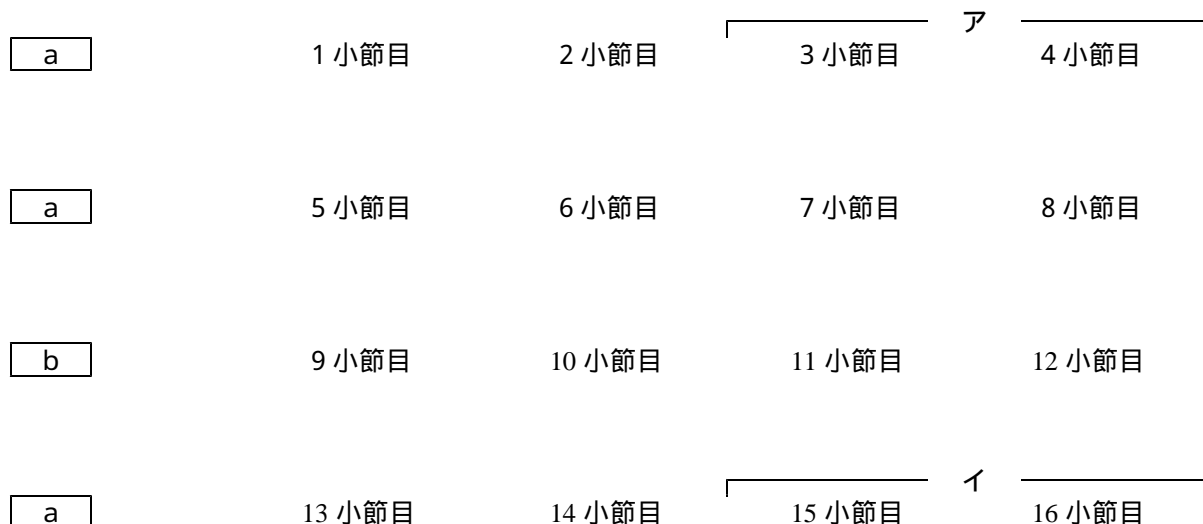
学習カード3の作成例と生徒の記入例

歌詞の内容や言葉の表現、旋律の進行や旋律の構成の学習を通してどのようなことがわかりましたか。学習した項目別に書き表してみましょう。

|       |  |
|-------|--|
| 歌詞の内容 | 生徒1 詩の中に思い出している部分と現在の部分があることがわかった。<br>生徒2 作詩者はこの歌詞に尾瀬に対する強いあこがれの気持ちを込めている。<br>生徒3 作詩者は尾瀬の風景を思い出してこの詩を書いたことがわかった。 |
| 言葉の表現 | 生徒1 言葉もイメージをもって発音すると感じ方が違うと思った。<br>生徒2 「みずばしょうの」の「う」のところが一番高くなって歌いにくかった。<br>生徒3 「が」には2通りの発音があることがわかった。           |
| 旋律の進行 | 生徒1 大部分が順次進行であることを知ってびっくりした。<br>生徒2 旋律の進行が曲のイメージに大きく関係があることがわかった。<br>生徒3 作曲者は跳躍進行をととてもうまく使っていると思った。              |
| 旋律の構成 | 生徒1 同じ旋律の中に一つだけ違う旋律があるといっそう目立つ。<br>生徒2 この曲は4小節が区切りになっていることがわかった。<br>生徒3 こんな構成になっている曲は他にもありそうだ。                   |

## 夏の思い出

実際の総括テストには、旋律の楽譜が入ります。



1. 上の楽譜を見て、跳躍進行の部分すべて で囲みなさい。
2. それぞれの旋律の進行による効果をあなたはどのように感じますか。  
 生徒 順次進行の部分.....おだやかな心の動きを表現している。  
 生徒 跳躍進行の部分.....とても印象深くて強調したい内容や場面の变化を表現している。
3. アの部分とイの部分とではどのように歌い方を変えたらよいでしょうか。  
 生徒 アの部分は静かに思い出している感じで、イの部分は強いあこがれをもった感じで歌う。
4. 上の楽譜の最初の4小節の旋律をaとします。あと4小節ごとに次のルールにしたがって記号をつける  
 とどうなりますか。上の楽譜の□にあてはまる記号を書き入れなさい。

ルール      a とまったく同じ旋律は a  
               a の旋律の一部が変化した旋律は a'  
               a とまったく違う旋律は b

5. 4で記入した記号により、あなたは歌うときにどんな工夫をしますか。  
 生徒 bの部分の旋律は音も高く始まり変化しているので、他の部分より強めに歌い出して盛り上げ、強弱の変化も大きくつける。

年間指導計画及び評価計画（第2学年）の参考例と本題材の位置付け

中心となる指導内容、 関連する指導内容、 関連する評価の観点

| 第2学年                              |   | 第1学期                                    |             |           |           | 第2学期    |        |        |        | 第3学期      |         |         |          |
|-----------------------------------|---|---|-------------|-----------|-----------|---------|--------|--------|--------|-----------|---------|---------|----------|
| 学年目標                              |   | 4                                       | 5           | 6         | 7         | 9       | 10     | 11     | 12     | 1         | 2       | 3       |          |
| 月                                 | 題   | 曲に合った工夫                                 | 身のまわりの音と音楽  | 言葉と旋律の生かし | 世界の諸民族の音楽 | 旋律の重なり  | 楽器の音色と | 楽器の音色と | 生の表現   | （和楽器）の音色と | 和楽器の味わい | 卒業生へ贈る歌 |          |
|                                   |   | 教材の範囲                                   | 1年時を既習の曲を使う | 環境音生活の中で  | 日本の歌      | 西アジアの音楽 | 和声音楽   | 創作     | アンサンブル | 混声合唱曲     | 現代邦楽    | 和楽器の合奏曲 | 卒業生へ贈る国歌 |
| 指導内容                              |   | 時数                                      | 3           | 4         | 2         | 4       | 3      | 4      | 3      | 4         | 4       | 2       | 2        |
| 表<br>現                            | ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | イ 曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | ウ 楽器の特徴を生かし、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現すること。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | エ 声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | オ 歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律を造り、声や楽器で表現すること。   |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | カ 表現したいイメージや曲想をもち、様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作をすること   |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを理解して表現を工夫すること。   |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
| ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。 |   |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
| 鑑<br>賞                            | ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想とのかかわり合いを理解して楽曲全体を味わって聴くこと。 |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から、音楽の多様性を理解して聴くこと。                                  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから、総合的に理解して聴くこと。  |   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
| 評<br>価                            | 評価の観点   | 観点の趣旨                                   |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | 音楽への関心意欲・態度   | 音楽に親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとする。              |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | 音楽的な感受や表現の工夫  | 音や音楽のよさや美しさを感じ取りそれらを音楽活動の中で創意工夫し生かしている。 |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | 表現の技能   | 音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。               |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |
|                                   | 鑑賞の能力   | 音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。              |             |           |           |         |        |        |        |           |         |         |          |